

磁気処理水装置 磁気の和 オリジン

●磁気水とは、磁場（磁界・磁気）を通った水を指し、日常使用している水とは違った性質を持っています。（クラスター〔水分子結合体〕塊・破碎・細分化）

- 製品特性： ファラデー電磁誘導の原理を利用した装置 強力磁場〔セット最大値 6 5 0 0 G〕に、水を通過させるとH⁺とOH⁻に分裂し更に、存在する強いエネルギーにより、そこに+電子が飛び込み（電磁誘導）H₃O₂⁻という活性水ヒドロキシルイオン（アクア-イオン効果）を生成する。
- 使用効果： 1）この活性水、ヒドロキシルイオンは、マイナスの電子を有するので（-イオン効果）水道水に含まれる塩素イオン（CLO⁻）に取り付いてミセルを形成し塩素を包み込むため、塩素による化学作用が、抑えられ無害化されます。
2）クラスターが小さくなると、酸化還元電位も低くなり美味しい水になるのです。磁気処理水が〔小さい水〕と言われる由縁です。磁気処理水は、体の隅々まで素早くいきわたります。
3）生物に-イオン効果が現われ元気になるのです。
- 仕様： ネオジ磁石 304ステンレスバンド
- 使用用途： 養殖・養魚池 畜産 養鶏場 園芸 浄水場・下水処理場などの水質改善。
- 使用方法： 飲料用の水道管・蛇口・上水道・井戸ポンプの導水管・出口にバンド装着使用。
（基着け用口径 150φまでフリーサイズ）

使用例



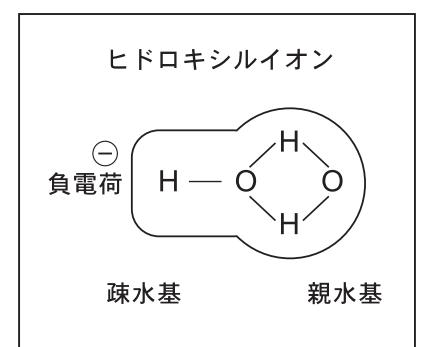
タンク注水用



導水管用



井戸用



ヒドロキシルイオン H₃O₂⁻の構造図

水中溶存酸素増大装置 エキサイティングジェット

（特許公開 特開2000-184836A 発明者 尉代 高橋 立志）

製品例

強力マグネットロータリー式 起電力による磁場の駆使によるクラスター（水の分子集団）の破碎水中溶存酸素増大装置。（溶存酸素の過飽和状態を実現）

- 製品特性： 水温18℃溶存酸素 9.18 mg / L 飽和状態 当該製品試験水温18℃溶存酸素 9.7 mg / L に過飽和した。（日本アトモス 環境計量士 調べ）
タイムラグの有効利用／滝効果（レナード効果）／ヒドロキシルイオン（アクア-イオン）の生成。
超高性能曝気による有害ガス交換（クラスター破碎）により高エネルギー水の実現。
- 使用効果： 1) 既存の磁気励起活水装置では不可能であった溶存酸素の過飽和状態を実現。
2) 既存活用・能力を大幅向上・活性水ヒドロキシルイオンによる浄化の促進効果。
3) H₃O₂⁻ヒドロキシルion生成。
4) メンテナンスの軽減。
- 仕様： オールセテニス304 強力マグネットロータリー式 長寿命セラミックベアリングW使用。
- 使用用途： 養殖場・養魚場・浄水場・汚水処理場・一般家庭などあらゆる場所の水質改善に有効。
- 使用方法： 既存のポンプ出口に取付可能。



製造者：尉代 高橋立志